

2010年度

科目名	日本文学講読 I		
担当教員	鈴木 利一		
配当	日文1(2111)	コード	42110
開期	後期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	上代日本文学入門		
目的と概要	日本上代文学の基本文献である萬葉集の読解を通して、上代文学全般への入門としたい。		
成績評価法	講義への参加状況(40%)、課題の提出状況(40%)、課題に取り組む姿勢(20%)等を勘案し、総合的に判断します。		
テキスト	佐竹昭広・木下正俊・小島憲之編『補訂版 萬葉集 本文篇』塙書房		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>上代日本文学は仮名文字以前の成立であるため、諸作品はすべて漢字で記されています。そのため、原典表記をいきなり眺めた場合、一見それは難解きわまりない印象を受けることでしょう。しかし、実はそこに上代文献を読む醍醐味が隠されてもいるのです。とりわけ、その中心作品である萬葉集は、異国の文字である漢字で日本独特の文学形式である「うた」を記すという苦心の営みの成果であり、その存在自体が、当時の国際文化交流の産物であるとも言えるからです。この講義では、その収録作品を丹念に読み進めることを通して、萬葉歌の文学史的、日本語史的な意義を明らかにしていきたいと考えています。必要に応じて、関連諸学での文学作品の取り扱い方にもふれ、総合的な視点から作品を見る姿勢を養っていく予定です。基本的には講義形式とし、著名な萬葉歌を読み進めることを通して、萬葉集を原文のまま読み解くための方法や基礎知識を、文学的かつ語学的に解説していきます。講義内容は以下の通りです。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ①萬葉集概説（1－3回） ②斉明朝の文学—初期萬葉歌—（第4－6回） ③天智朝の文学—額田王作歌—（第6－8回） ④天武朝の文学—人麻呂歌集—（第9－11回） ⑤文武朝の文学—人麻呂作歌—（第12－15回） 			